

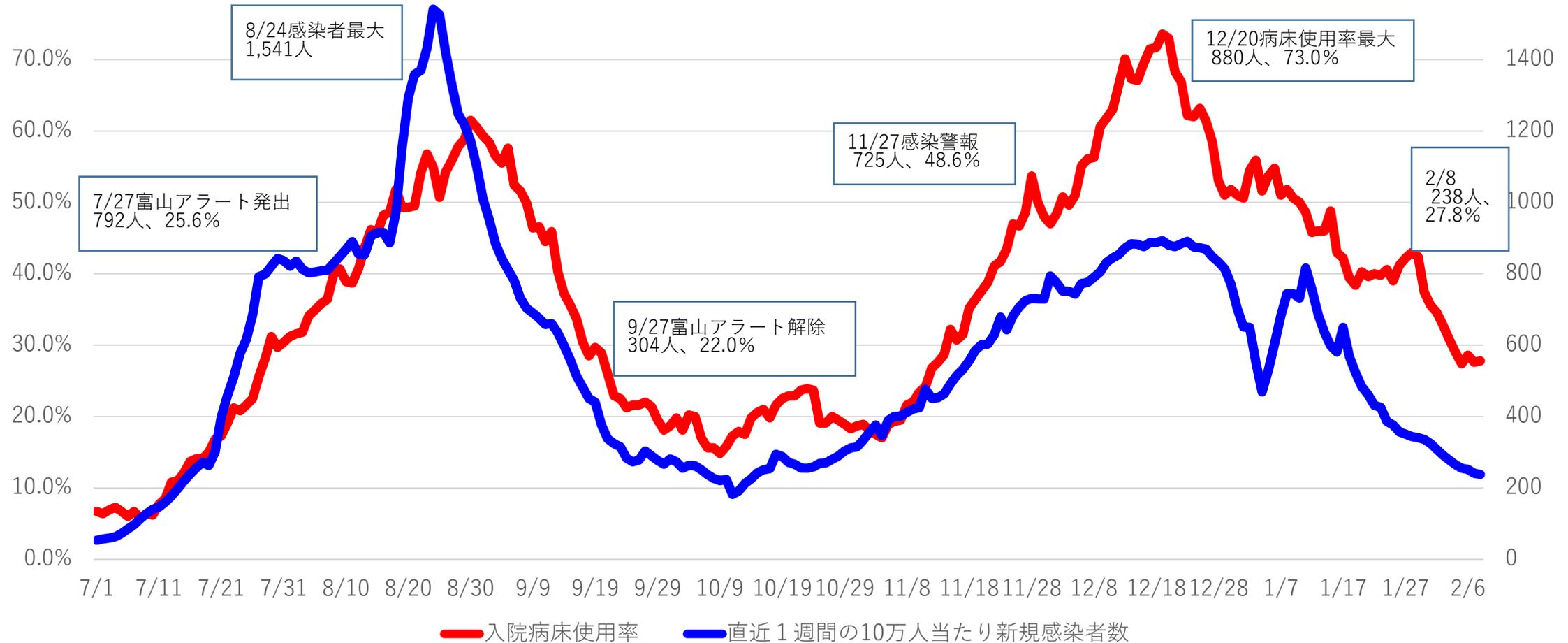
新型コロナ 感染対策のレベル レベル2「感染注意報」への引下げ

○感染者数・入院者数ともに減少傾向が継続していることから、感染対策のレベルについて

2月10日から **現在のレベル2「感染警報」⇒レベル2「感染注意報」へ引き下げ**

○ただし、感染者数がまだまだ多いこと、併せて季節性インフルエンザも流行していることから、
県民の皆さまには、**基本的な感染対策の継続**をお願いします。

○県としても高齢者施設等の集中的検査やクラスター発生時の検査キット・感染防護具等の支援を継続



新型コロナ 感染対策のレベル分類

レベル分類	状況 (保健医療の負荷や社会経済活動の状況)	対策	レベルの判断基準 (保健医療の負荷や社会経済活動の状況等を踏まえ、総合的に判断)
レベル1	【感染小康期】 ・外来医療・入院医療ともに負荷が小さい	感染対策の継続	・病床使用率：概ね30%未満 ・感染者は低水準で推移または徐々に増加
レベル2	【感染拡大初期】 ・発熱外来の患者数が急増し、負荷が高まり始める ・救急外来の受診者数も増加 ・病床使用率、医療従事者の欠勤者数も上昇傾向 ・事業所では欠勤者が増加、業務継続に支障が生じるケースも出始める	感染注意報	・病床使用率が概ね30%以上 ・感染者が急速に増え始める
		感染警報	・感染注意報を出しても感染拡大が続き、病床使用率も上昇
レベル3	【医療負荷増大期】 ・発熱外来や救急外来に患者が殺到し、重症化リスクの高い方がすぐに受診できない事象が発生 ・救急搬送困難事例が急増 ・入院患者の増や医療従事者の多数の欠勤により入院医療の負荷が高まる ・事業継続が困難となる事業者も多数発生	医療ひっ迫防止対策強化宣言	・病床使用率が概ね50%以上かつ中等症以上の割合が増加 ・重症病床使用率が概ね50%以上 ・医療の負荷を増大させるような数の感染者が発生
		医療非常事態宣言	・対策強化宣言に基づく対策を行っても感染拡大が続く場合
レベル4 避けたいレベル	【医療機能不全期】 ・通常医療も含めた外来医療全体が機能不全 ・入院できず自宅や施設内療養中の死亡例が多数発生 ・通常医療を大きく制限せざるを得ない状態 ・膨大な欠勤者により社会インフラの維持に支障	緊急事態	・病床使用率が概ね80%以上かつ中等症以上の割合が増加 ・重症病床使用率が概ね80%以上 ・想定を超える膨大な数の感染者が発生

1 医療提供体制の指標

①入院病床使用率 ②重症病床使用率

2 感染状況の指標(参考指標)

①直近1週間10万人当たり感染者数 ②①の対前週比

レベルごとの対策(行動制限も含む)は、そのときの流行株の特性に応じて実施

<催物(イベント等)の開催>原則、国の新型コロナ感染症対策の基本的対処方針の基準を適用